

老人会のスローガンは「健康・友愛・奉仕」です。

家族の健康・自分の健康・近所の人達との友愛の絆を深め、困っている人への手助け、子ども達への安全と見守りの奉仕活動と、老人会の人達は多種多様の活動をしておられます。

自分の生きがいと健康のため、又、地域における楽しく明るい街づくりのために一生懸命に活動しておられます。

ポイント制度が出来たのも活動された人達への「ご褒美」ではないでしょうか？

60歳から老人会に加入出来ますので、大いに友を呼び仲間づくりをみんなでやりましょうね。

学区老人クラブ連合会が取り組んでいる行事を紹介しますと、6月に熟年スポーツ大会(18年間)、11月には皆実小学校1年生に授業の中で昔遊びの指導(16年間)、12月にはみなみシルバー文化のつどい(14年間)、2月にはグラウンド・ゴルフ大会(9年間)、3月にはニュースポーツ(7年間)、どの種目も人数の制限はありませんので、60歳以上で老人会加入の方は参加することが出来ます。

この機会に新規加入、再加入大歓迎です。うれしいお声をお待ちしてま〜す。



民生委員 児童委員 のバッヂ

仲良く支え合う地域づくりを

学区民生委員児童委員協議会 会長 佐々木宏文

『仲良きことは美しきかな』とは、武者小路実篤の名言です。遠くなりつつある昭和の時代には、この言葉を記した色紙を良く見かけたことを覚えています。お互いを思いやり支え合う姿勢は今でも欠かせない美徳の一つではないでしょうか。地域福祉の充実を図るには、それを担う人々の「仲の良さ」こそがまず大切だと感じています。

学区社会福祉協議会と地区民生委員児童委員協議会は、地域福祉を担う車の両輪と諸先輩から教えられてきました。片方の車輪だけがいくら回っても、前には進みません。両輪が仲良く連携していくことが重要です。学区では、そうした思いで、しっかり意見を出し合い、納得し合って活動するよう心がけています。現在、24人の委員が相談・支援活動や見守り訪問活動に携わっていますが、その活動も多くの皆さんの協力と支えが頼りです。益々のご支援をよろしくお願い致します。

「ずっと青春!一緒にバレーしませんか」

学区体育協会バレー部 部長 水本真理子

現在、監督1名、部員15名程で毎週日曜・火曜の19時~21時に小学校体育館で練習しています。

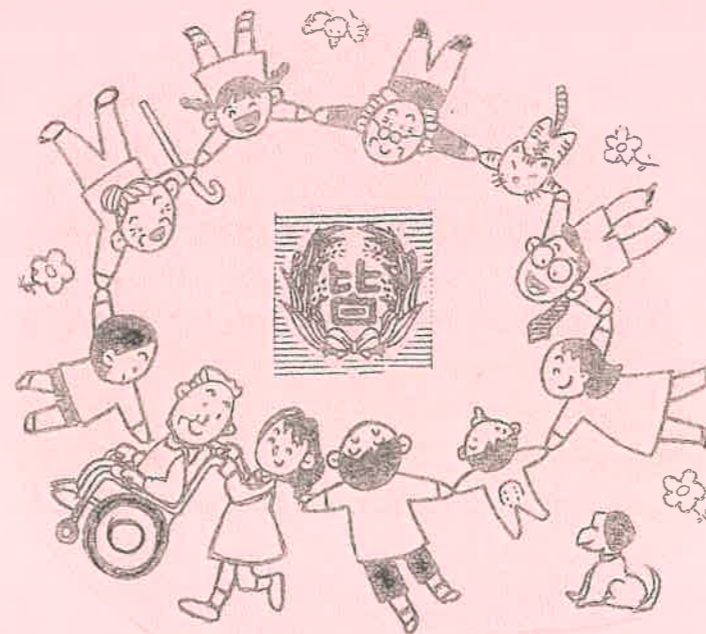
今季は「広島市リーグ春季・秋季大会」で勝ち上がり4部に昇格しました。

また、毎年5月第3日曜日にある「南区民大会」や、一般より少しボールが小さい家庭婦人の大会(ホームテレビ杯など)にも出場しました。

しかし、このような大会では、仕事の都合などで選手が少ないことが多く、毎回助っ人の方を呼ぶ現状にあります。

体を動かしたい!また楽しくバレーをしたい!という方、私たちと一緒に良い汗を流しませんか? まずはお気軽に見学にいらしてください。

ぜひ、お待ちしております。



みなみ 社協だより

皆実学区社会福祉協議会

地域福祉の原点は隣人の絆です

学区社会福祉協議会 会長 市川宏

高齢者社会、少子化社会は益々進み、その対策は遅々として進まず、反面天災は容赦なく大型化多様化して、その日暮らしの対応に追われ抜本的対策は先送りになりました。

たちまちの対策で、市は自助「自分の事は自分で」、近助「隣近所の助け合い」を提唱しました。具体的に、「高齢者地域支え事業」という事業を立て上げ、公助は後回しです。

そこで、私達のやらねばならぬ事は次の2つです。

- ① 「高齢者地域支え事業」をうけ、隣近所の人との絆を深め、お互いの日々の気配りと何でも遠慮なく言えたり相談できる信頼関係をつくることです。
→それが将来拡がるのが、望ましいです。
② 信頼関係の深まった近隣の、まとめ役即ち、組長さんの力が次に大切になります。役員とか委員とかの立場ではなく、絆を保つかじ取りをする人がいます。

その後は、幹事さんや町内会長などの役員、更に学区全体の役員の集団組織である皆実学区社会福祉協議会の役目です。

お願いは、①②に加えて積極的に役員に参加して頂く人が出てほしいです。

輝く表彰受賞(29~30年度)

<個人の部>

Table with 5 columns: 表彰区分, 受賞月, 表彰内容, 町内会, 氏名. Rows include awards for fundraising and safety activities.

<団体の部>

Table with 4 columns: 表彰区分, 受賞月, 表彰内容, 団体名. Rows list awards for safety and senior club activities.

## 読書活動の推進

皆実小学校 校長 石田 知己

平成 30 年度の本校の重点計画は、①国語の説明文の学習を通して、「確かな読み」の力をつける②読書活動の推進③全学年で障害理解学習を実施④体力アップ運動や縄跳び運動を通して体力向上⑤食育指導の確実な実施の 5 点です。

今年度の取組の中で読書活動について少し詳しく説明します。広島市子ども図書館が選定している図書を今年度の図書予算で購入して、2 クラスに 1 セット用意しました。どの学年も 20 冊を目標にしてその本を朝読書の時間等を使って読み進めています。そろそろ目標冊数を達成した児童が出てきました。

読書は「読んだ高さから世界が見える。読んだだけ世界が広がる」と言われています。これからも読書活動を推進していきたいと思っております。

ご家庭に児童用図書でまだ活用可能なものがありましたら、学校に寄贈していただくと助かります。どうぞよろしくお願いいたします。



## 中高生の意見を聞いて思う事

学区青少年健全育成連絡協議会 会長 牛尾克美

毎年 11 月に開催される南区青少年健全育成大会で聴く中高生の発表には毎回驚かされます。テーマを通して中学生からは夫々が社会をどう捉まえているのかという世界観を感じられるし、高校生は与えられたテーマを自分の人生の課題としてより具体的にどうすればよいのか、どうしたいのか、とても真剣に捉まえていますし、子ども達は大人の有り様をジックリと見ているようにも感じられます。

「負うた子に教えられ」と言うことわざもありますが、彼ら・彼女たち発表する姿を観ていると、我々大人一人ひとりが造り上げているこの世界に対して、もっと真剣に向き合わなければならないし、自分の人生に責任を持たなければ、とも感じてしまいます。

機会があれば、自分の身の回りに居る次代を担う子ども達の意見を先入観なしに聞いてみることも必要な事なのかな、とも感じています。

子ども達とのコミュニケーションを大切にしたいですね。

## 母子寡婦福祉会の活動

学区母子寡婦福祉会 会長 井川敬子

南区ひとり親寡婦家庭は、30 年度皆実地区ひとり親家庭 20 家、寡婦 10 名で活動しています。昭和 55 年政令都市へ昇格時に区母子会を発足し、それぞれの区にあった特色ある活動をしています。

母子家庭「輪になろう、幸せは皆の手で」。寡婦「手をつなごう豊かな老後の為に」をスローガンに、活動は、ボーリング、アクアス水族館、料理教室、互礼会等々です。

ひとり親は年々増えている昨今、会員への勧誘もままならず会員の数が減り続けています。ご近所にひとり親と寡婦の人がおられましたら、ぜひ声をかけて頂きたくお願い致します。地道な取組みながら、少しでも会員が増えるように活動を続けていきたいと思っております。

## 地域の防犯力

学区防犯支部長 元田賢治

広島市においては、昨年 7 月の記録的な豪雨により、市内各所において土砂流や河川の氾濫などにより多大な被害が発生し、多くの尊い命が奪われました。

お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げますとともに、復旧・復興に向けて、皆様のこれまでのご支援に心から感謝申し上げます。

さて、南区内の大洲・荒神・段原学区の一部を管轄しておりました広島東警察署が東区に移転し、昨年 9 月より、広島南警察署が南区全域を管轄することになり、1 区 1 署体制が確立し、皆様に分かりやすい体制となりました。

犯罪は、「いつ」、「どこで」、「どのような」事件として発生するか分かりません。皆実支部としましても、「防犯意識の高い人づくり」、「防犯力の高い地域づくり」、「犯罪の起こりにくい環境づくり」を目指し、警察、市・区役所、関係団体が今まで以上に連携し、「自分たちのまちは、自分たちで創り、守っていく」という強い意識を持って、地域の皆様と共に積極的に防犯活動を行ってまいりますので、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 「2018 年を振り返って」

皆実小学校 PTA 会長 鍵原貴浩

2018 年もお蔭様をもちまして穏やかに過ごすことが出来ております。

見守り活動や学区老人会による「昔遊び」・美化作業など地域の皆様には日々さまざまな場面でご支援をいただき、改めて感謝申し上げます。11 月の親善行事には翠町中学校の吹奏楽部にご協力いただき子ども達に迫力ある演奏を体験してもらいました。演奏者の中には卒業生もたくさんいて、ほんの 2~3 年の成長ぶりとしてそれを見つめる在校生の眼差しがとても印象的でした。

2020 年度には本校が 100 周年の節目を迎えることとなります。

これまでお世話になった皆様へ喜んで頂けます様な節目を目指し取り組みを始めております。つきましては今後一層のご支援を頂ければ幸いです。

引き続き、我々 PTA も地域の一人として微力ながらお手伝いをさせて頂きつつ、活力のある安心・安全な学区で子ども達を育ててまいりたいと思っております。

## 「とんど祭り」に想う

学区子ども会育成協議会 事務局長 新井京子  
とんど祭りが好天に恵まれた、1 月 13 日皆実小学校校庭に 400 人を超える町民に参加して頂き盛大に開催することができました。

平和公園の「平和の灯」から採火した火を、代表者 6 年生 12 人の子ども達の手によりリレーして校庭を 1 周した後、社協市川会長、元田市議、皆実小学校石田校長・福田教頭はじめ、各団体の会長や子ども達の代表者とともに檣に点火されました。炎は 10 メートルのとんどを一気に駆け上がり、竹の威勢よく弾ける音と共に空高く燃え上がりました。

沢山のご協力お手伝い頂いた皆様に感謝しお礼申し上げます。私たち子ども会の活動が、少しでも子ども達の笑顔と成長に役立てばと思います。

